

店舗名：

1. 「企業規模」を選択し、該当のマスにチェック✓を入れてください。

中小企業又は個人事業主

大企業

2. 「区分Bの協力日数」を算定してください。

区分Bの協力日数 = 区分Bの協力開始日 から 区分Bの協力終了日 まで = 区分Bの協力日数 日

3. 飲食事業の「過年度売上高」を算定してください。令和3年2月28日以前に開店している場合は「a」を、令和3年3月1日以降に開店した場合は「b」の計算式を使用してください。

●下記の計算方法を選択し、該当のマスにチェック✓を入れてください。

- a
- ・令和3年3月の飲食業売上高÷日数＝過年度売上高
 - ・令和2年3月の飲食業売上高÷日数＝過年度売上高
 - ・平成31年3月の飲食業売上高÷日数＝過年度売上高

3月飲食業売上高 円 ÷ 31 日 = 円

※税抜き、テイクアウト除く ※1円未満切上げ

- b
- 開店日(令和 年 月 日) から3月31日までの飲食業売上高÷日数＝過年度売上高
 - ※令和3年3月1日以降に開店した店舗が対象。令和3年4月1日以降に開店した場合は売上高「0」を記入する。

開店日(令和3年3月1日以降)～3月31日までの飲食業売上高 円 ÷ 31 日 = 円

※税抜き、テイクアウト除く ※開店日によらない ※1円未満切上げ

4. 「企業規模」および「過年度売上高」に応じて次の①～④へ進んでください。

※①または②へ進んだ場合は、これで計算終了になります。(次ページの計算は不要です。)

●過年度売上高が【75,000円以下】の場合

基礎額B = 30,000 円

① 区分Bの協力金額 = 30,000 円 × 日 = ,000 円

※千円未満切上げ

●過年度売上高が【75,001円～250,000円】の場合

基礎額B = 円 × 0.4 = ,000 円

② 区分Bの協力金額 = ,000 円 × 日 = ,000 円

※千円未満切上げ

③ ●過年度売上高が【250,001円以上】の場合

次ページの5へお進みください。

④ ●企業規模が大企業の場合

次ページの5へお進みください。

大企業

5. 飲食事業の「要請中売上高」を算定してください。

●令和4年3月7日から3月21日の飲食業売上高÷日数（15日）＝要請中売上高

令和4年3月7日～3月21日飲食業売上高

$$\boxed{\text{円}} \div 15 \text{日} = \boxed{\text{円}}$$

※税抜き、テイクアウトを除く

要請中売上高

※1円未満切上げ

6. 飲食事業の「売上減少額」を算定してください。

●過年度売上高－要請中売上高＝売上減少額

過年度売上高

$$\boxed{\text{円}} - \boxed{\text{円}} = \boxed{\text{円}}$$

要請中売上高

売上減少額

7. 「企業規模」および「売上減少額」に応じて次のⅠまたはⅡへ進み、「区分Bの協力金額」を算定してください。※大企業は必ずⅡへ進んでください。

中小企業または個人事業主	●売上減少額が【250,000円以下】の場合
	<p>基礎額B = 100,000 円</p> <p>区分Bの協力金額 = $\frac{\text{基礎額B}}{\text{円}} \times \boxed{\text{日}}$ = $\boxed{\text{円}}$,000 円</p>
大企業	●売上減少額が【250,001円以上】の場合
	<p>基礎額Bは下記ⅰまたはⅱのうち一番低い額となります。</p> <p>ⅰ $\frac{\boxed{\text{円}}}{\text{円}} \times 0.4 = \boxed{\text{円}}$,000 円 ※千円未満切上げ</p> <p>ⅱ 200,000 円</p> <p>一番低い額</p> <p>基礎額B = $\boxed{\text{円}}$,000 円</p> <p>区分Bの協力金額 = $\frac{\text{基礎額B}}{\text{円}} \times \boxed{\text{日}}$ = $\boxed{\text{円}}$,000 円</p>